

# 縄文と弥生

## —移り変わる時代に生きた人々の暮らし—

神奈川県教育委員会文化遺産課

小此木 健

### I. 対象とする時期 (図1)

主に縄文時代晩期後半から～弥生時代中期前半 (= 縄文・弥生移行期)

### II. 縄文文化のイメージと弥生文化のイメージ

- 縄文文化 … 土器を使用し始め、狩猟・採集・漁撈を生業の基盤とした定住的な生活を営んでいた
- 弥生文化 … 水田稲作を中心とした農耕を行い、食料生産に重きを置いた生活を営んでいた

### III. 縄文・弥生移行期以前の暮らし (図2～7)

- 気候の寒冷化を受けて、縄文時代中期にピークに達した遺跡数は、後期以降は減少し、晩期にかけて激減する。集落も小規模で、分散したあり方を示すようになる ⇒ 縄文社会の停滞・衰退といわれる
- 気候の寒冷化を巧みに利用した痕跡 ⇒ 植物質食料の多角化

### IV. 縄文時代晩期後半の暮らし (図3・8～13)

- 浮き彫りの細隆線で飾られた浮線文土器が広くみられる時期で、気候が寒冷化する真っ只中にあたる。
- 県内における遺跡の分布は限られ、前時期までわずかに営まれていた集落はみられなくなり、竪穴住居跡の発見例はない(土器や石器の散布にとどまる)。
- 神奈川県域だけではなく、関東地方や中部高地でも住居跡の発見例は限られる。発掘された住居跡はいずれも規模が小さく、掘り込みが浅い。長期間継続する遺跡はほとんどなく、小規模な集団が短期間のうちに生活の場を移しながら暮らしていたと考えられる。
- レプリカ法の成果により暮らしのそばに雑穀が存在していた可能性が浮かび上がってきているが、石器組成や植物遺体からは縄文晩期後半以前と同様に狩猟や採集を引き続き行っていたことが推測される。

### V. 弥生時代前期後半の暮らし (図14～23)

- 東海系の条痕文土器や近畿系の遠賀川系土器、東北系の変形工字文を有する土器がみられる時期。
- 前時期に比べ遺跡数は増加傾向にある明確な住居跡は確認されていないものの、炉跡や焼土址など生活の痕跡を感じさせる遺構が見つかっている。
- 関東地方や中部高地でも住居跡の発見例は限られる。確認されている住居跡は、前時期と同様に規模が小さく、掘り込みが浅い。⇒ 引き続き、小規模な集団が短期間のうちに生活の場を移しながら暮らしていた
- 中屋敷遺跡で検出された土坑群から炭化したアワやイネなどが出土。アワの卓越する出土量からは、イネの存在を知りながらも雑穀栽培に力を入れていたことが推測される。また、炭化したアワ・イネとともにトチノミも出土していることから、縄文後・晩期から培われた植物質食料の利用が受け継がれていたことが考えられる。
- 県内では雑穀やイネの圧痕が10遺跡で確認されており、暮らしの中に穀物が広くとけ込んでいた。
- 丹沢山地周辺では陥し穴がさかんに掘られており、シカやイノシシを対象とした狩猟にも励んでいた。

- 土器を用いた再葬墓が造営されるようになり、弥生時代中期前半へと継続する。  
⇒分散して暮らす小規模な集団が、再葬墓の造営を通じて祖先祭祀を執り行うことで、集団同士のつながりを再確認し、関係性を強めていた。

## VI. 弥生時代中期前半の暮らし（図 24～26）

- 条痕文の流れを汲む土器、東北地方由来の文様をもつ土器の両者が融合した土器がみられる時期。
- 前時期とはほぼ同じ遺跡数で、分布に大きな変化は見られない。
- 関東地方や中部高地で広くみられる打製石斧の大型化する現象が、山北町堂山遺跡出土の打製石斧でも認められる。⇒生活の中で雑穀栽培の比重が高まったためか
- 丹沢山地周辺では前時期から継続して陥し穴が掘られており、雑穀栽培だけではなく狩猟も行っており、前時期の生活スタイルを受け継いでいると考えられる。

## VII. 縄文・弥生移行期以降の暮らし（図 27）

- 本格的農耕集落 = 小田原市中里遺跡の出現  
⇒ 足柄平野に立地し、約 4 ヘクタールの居住域と方形周溝墓からなる墓域が広がる  
⇒ 弥生時代中期前半までの暮らしとは形態や規模が全く異なる
- 水田跡そのものは見つからないものの、水田耕作を行っていたことを強くうかがわせる遺物・遺構が発見されている。⇒ 生活スタイルが縄文・弥生移行期から大きく変化したことを示す。

### 【参考・引用文献】（報告書については掲載を割愛）

- 石川 日出志 2010 『農耕社会の成立』シリーズ日本の古代史① 岩波書店
- 神奈川県考古学会 2008 『平成 19 年度考古学講座 新神奈川・新弥生論』
- 小林 青樹 2004 「農耕開始期の居住システムと住居構造－中部高地・関東を中心に－」『帝京大学山梨文化財研究所研究報告』第 12 集
- 国立歴史民俗博物館 2007 『弥生はいつから!?－年代研究の最前線－』
- 設楽 博己 2006 「弥生時代改訂年代と気候変動－SAKAGUCHI1982 論文の再評価」『駒沢史学』駒沢史学会  
2006 「関東地方における弥生時代農耕集落の形成過程」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 133 集  
2017 『弥生文化形成論』塙書房
- 設楽 博己編 2017 『季刊考古学第 138 号 特集 弥生文化のはじまり』
- 設楽 博己・高瀬 克範 2014 「西関東地方における穀物栽培の開始」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 185 集
- 杉原 荘介・戸沢 充則 1963 「神奈川県杉田遺跡および桂台遺跡の研究」『考古学集刊』第 2 巻第 1 号
- 佐々木 由香 2009 「縄文から弥生変動期の自然環境の変化と植物利用」『季刊東北学』第 19 号
- 佐々木 由香・工藤 雄一郎・百原 新 2007 「東京都下宅部遺跡の大型植物遺体からみた縄文時代後半期の植物資源利用」『植生史研究』第 15 巻第 1 号
- 谷口 肇 1996 「ポスト浮線紋－神奈川周辺の状況－（その 1）」『神奈川考古』第 32 号
- 勅使河原 彰 2016 『縄文時代史』
- 前山 精明 1996 「縄文時代晩期後葉集落の経済基盤－新潟県御井戸遺跡出土植物性食料残渣の計量分析から－」『考古学』と遺跡の保護 甘粕 健先生退官記念論集』
- 森岡 秀人・中園 聡・設楽 博己 2005 『稲作伝来』先史日本を復元する 4 岩波書店
- 横浜市歴史博物館 2008 『特別展 縄文文化円熟－華蔵台遺跡と後・晩期社会－』
- 横浜市歴史博物館 2017 『平成 29 年度企画展 横浜に稲作がやってきた』



図1 対象とする時期

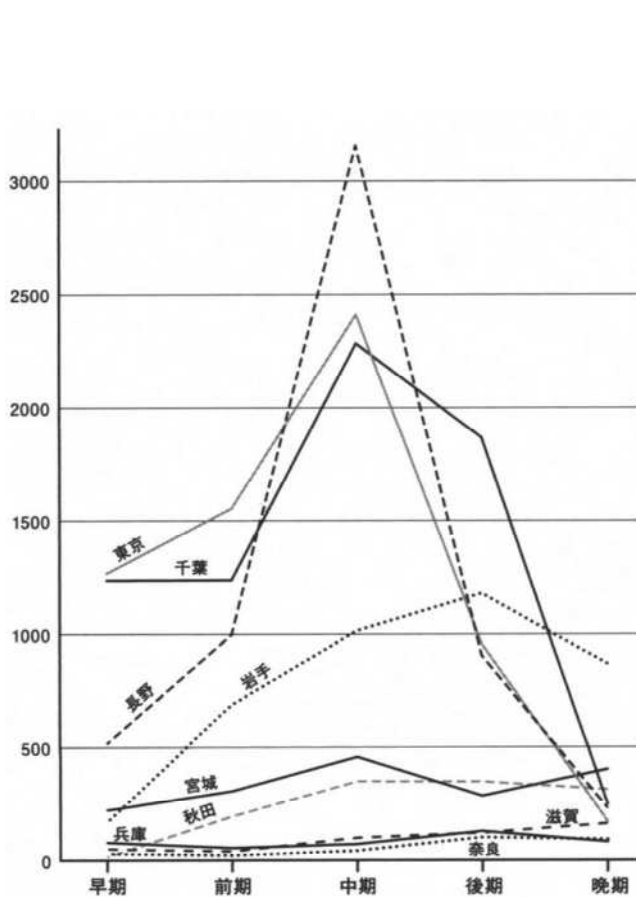


図2 縄文時代の遺跡数の推移  
(勅使河原 2016 より引用)

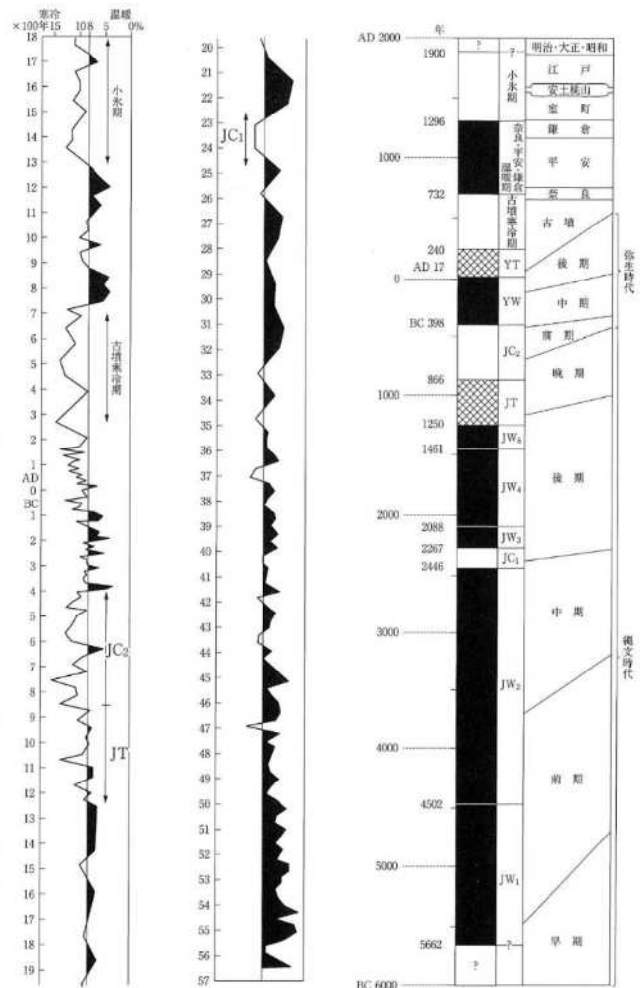


図3 縄文時代から現在までの気温変化と時代区分  
(設楽 2006 より引用)

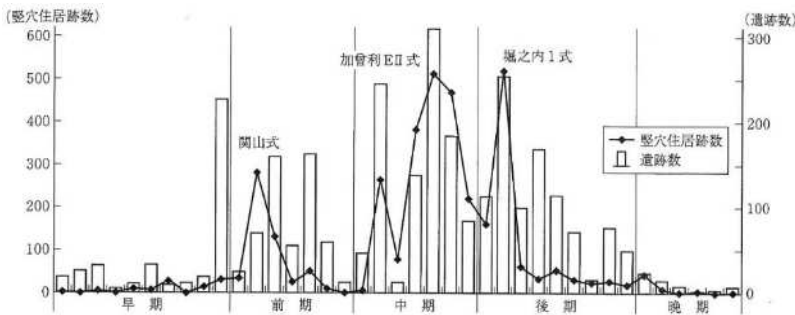


図4 東京湾東岸の縄文時代遺跡数と竪穴住居数  
(森岡・中園・設楽 2005 より引用)

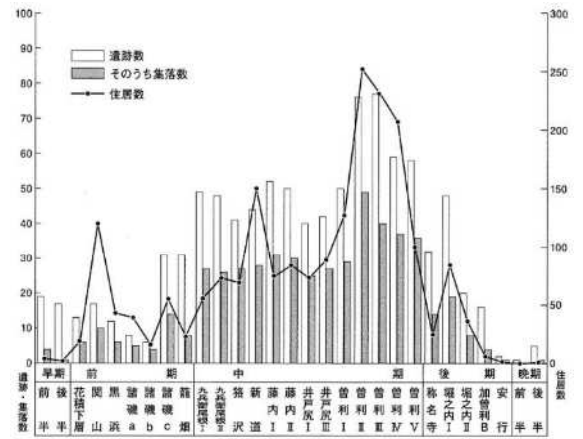


図5 八ヶ岳西南麓の土器型式別にみた遺跡・集落・住居数  
(勅使河原 2016 より引用)

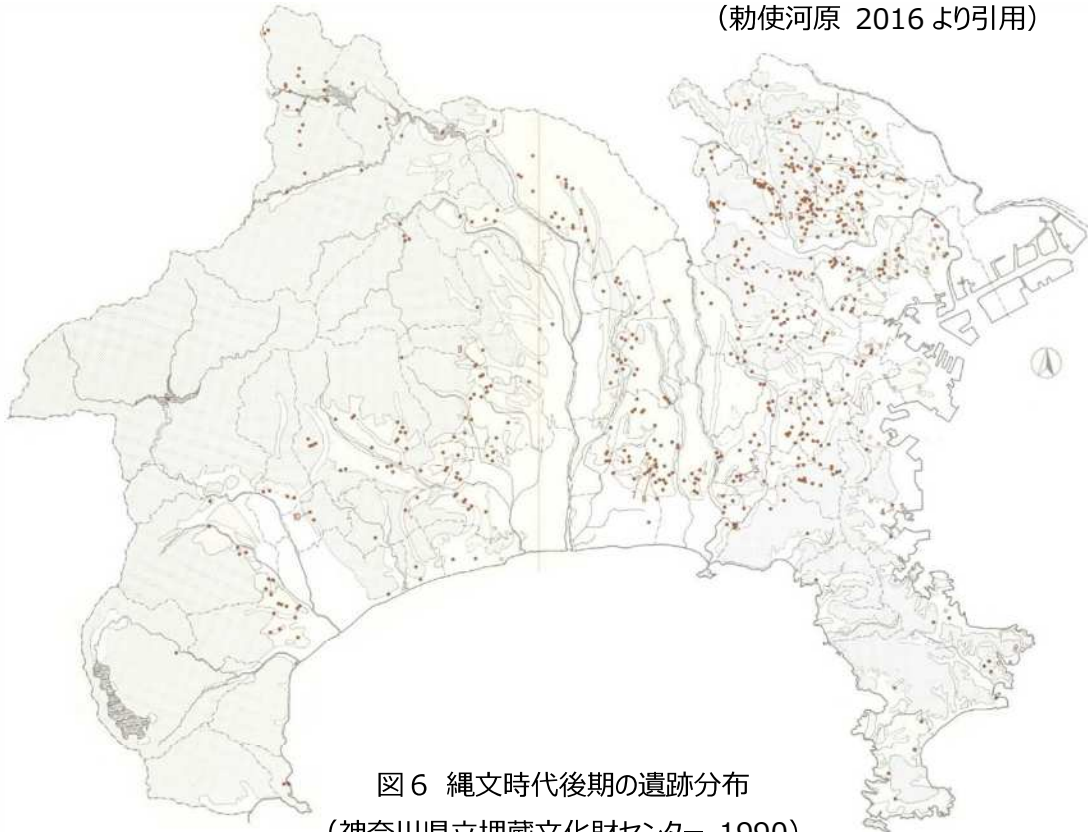


図6 縄文時代後期の遺跡分布  
(神奈川県立埋蔵文化財センター 1990)

| 時代区分     | 前期  |    | 縄文時代中期                               |                          | 縄文時代後期                   |                           |                                     |              | 縄文時代晩期                   |    |    | 弥生時代 |
|----------|-----|----|--------------------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------|-------------------------------------|--------------|--------------------------|----|----|------|
|          | 後葉  | 前葉 | 中葉                                   | 後葉                       | 初頭                       | 前葉                        | 中葉                                  | 後葉           | 前葉                       | 中葉 | 後葉 | 前葉   |
| (cal BP) |     |    | S-1期<br>ca.5300<br>~4800             | S-2期<br>ca.4800<br>~4400 | S-3a<br>ca.4500<br>~4300 | S-3b期<br>ca.4200<br>~3900 | S-4期<br>ca.3800<br>~3300            |              | S-5期<br>ca.3400<br>~2800 |    |    |      |
| 河道変遷     | 河道1 |    | 河道1                                  |                          |                          |                           | 河道2                                 |              |                          |    |    |      |
| 遺構・遺物    |     |    | 11号水場遺構、2号クミミ塚、1号クミミ塚、2号クミミ塚 (北東部集中) | 2号クミミ塚 (南西部集中)           | 8号水場遺構                   | 4号トチ塚、49号縄組製品、7号水場遺構      | 2, 3, 5号トチ塚、37号縄組製品、周辺堆積土、3号焼土pit23 | 1号トチ塚        | クリ果実集中、有機物集中、4号水場遺構      |    |    |      |
| オニグルミ    |     |    | ●                                    | ●                        |                          |                           | △                                   |              |                          |    |    |      |
| ヒメグルミ    |     |    | △                                    | △                        |                          |                           | △                                   | ●            | ●                        |    |    |      |
| クリ       |     |    |                                      |                          |                          |                           |                                     |              |                          |    |    |      |
| クヌギ節     |     |    |                                      |                          |                          |                           | ●                                   |              |                          |    |    |      |
| コナラ      |     |    | △                                    |                          |                          |                           |                                     |              |                          |    |    |      |
| ナラガシワ    |     |    | △                                    | △                        |                          |                           |                                     |              |                          |    |    |      |
| アカガシ亜属   |     |    |                                      |                          |                          | ○                         |                                     |              |                          |    |    |      |
| トチノキ     |     |    | △                                    | △                        |                          | ●                         | ●                                   | ●            |                          |    | △  |      |
| ネギ属      |     |    |                                      |                          | ○                        |                           |                                     |              |                          |    | ○  |      |
| その他      |     |    | エゴマ、ヒョウタン、ササゲ属                       | ササゲ属                     |                          |                           | エゴマ、ヤマグワ、ササゲ属                       | ニフトコ・ヤマグワ核集中 |                          |    |    | ニフトコ |

● 樫実の集積など遺構レベルの利用痕跡  
○ 遺物レベルでの利用痕跡  
△ 産状や組成から利用を推定したもの  
— 河道内における出土量の比率の変化  
..... 出土時期が読れないもの

図7 下宅部遺跡における植物資源利用の時期別変遷 (佐々木・工藤・百原 2007 より引用・一部加工)



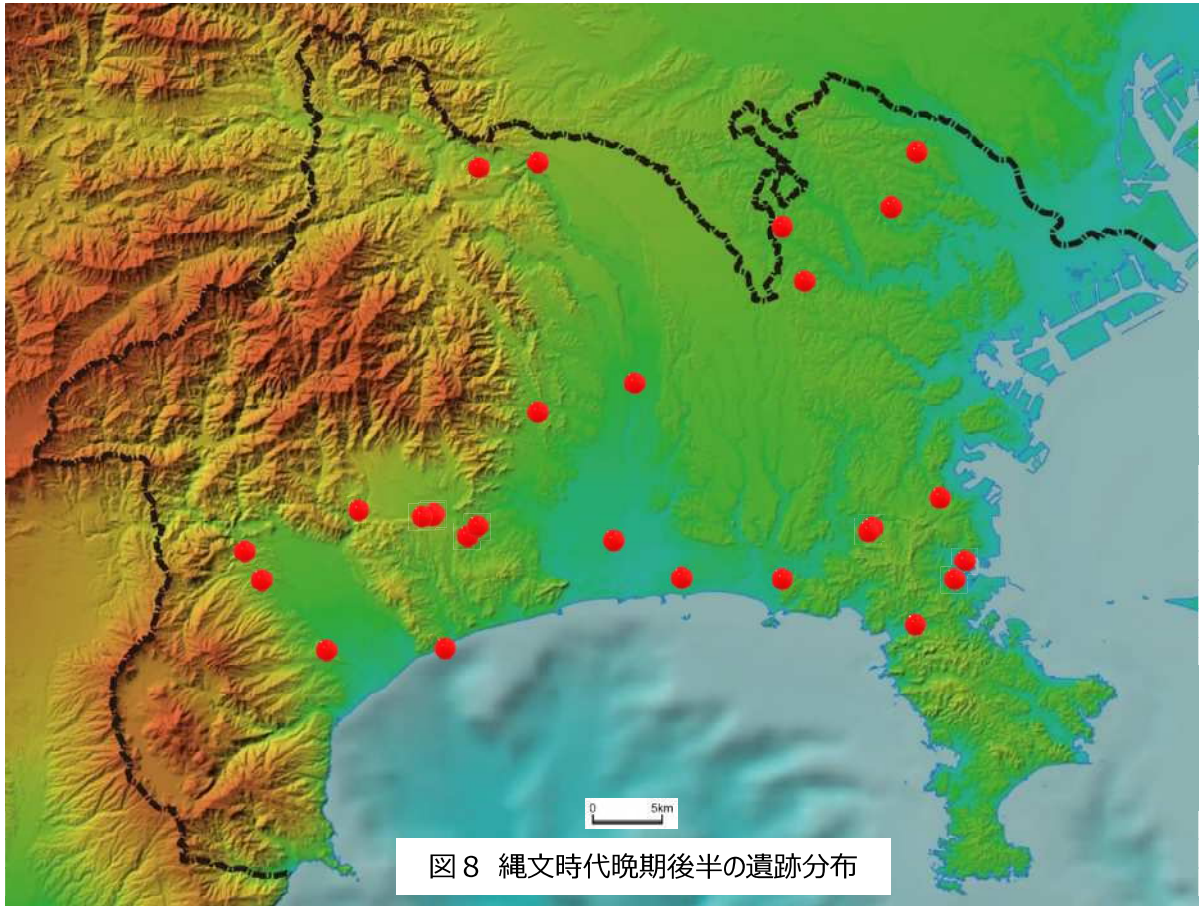


図8 縄文時代晩期後半の遺跡分布

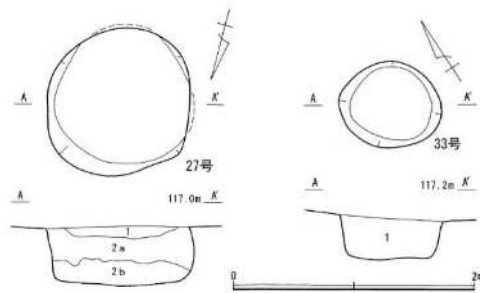
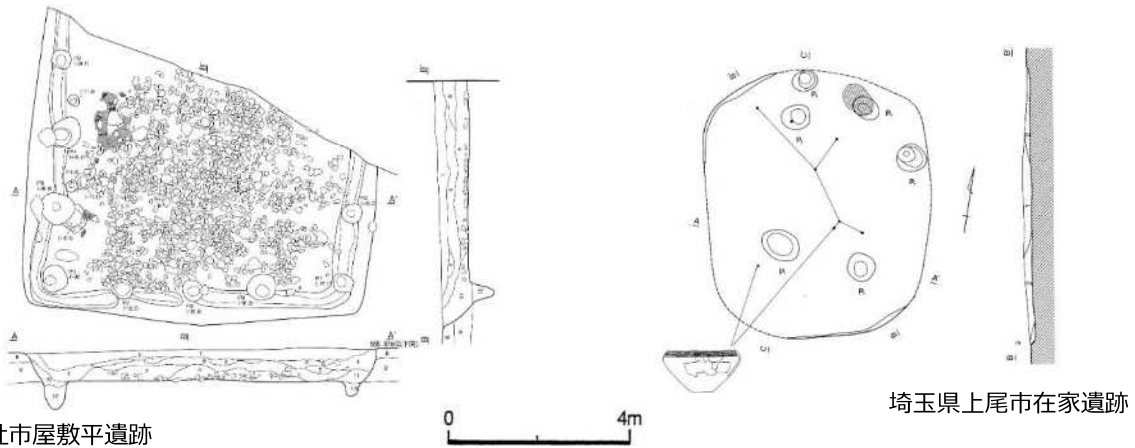
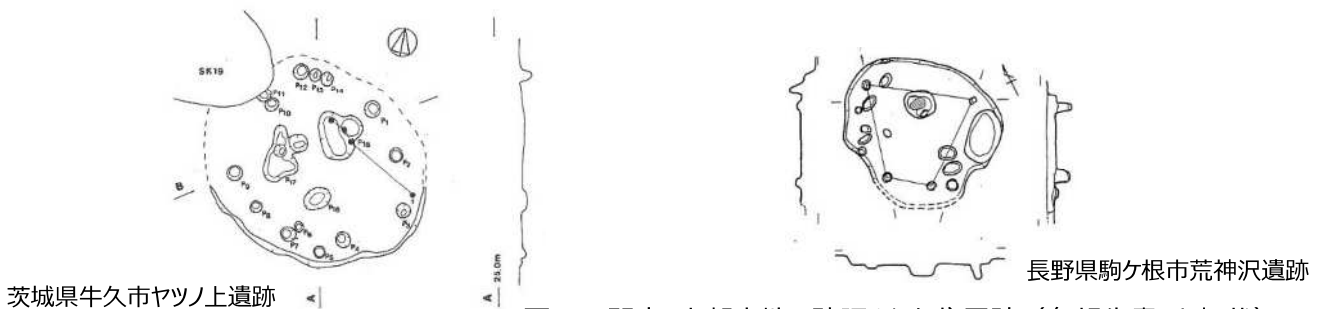


図9 秦野市平沢同明遺跡の土坑  
(報告書より転載)



山梨県北杜市屋敷平遺跡

埼玉県上尾市在家遺跡



茨城県牛久市ヤツ上遺跡

長野県駒ヶ根市荒神沢遺跡

図10 関東・中部高地で確認された住居跡 (各報告書より転載)

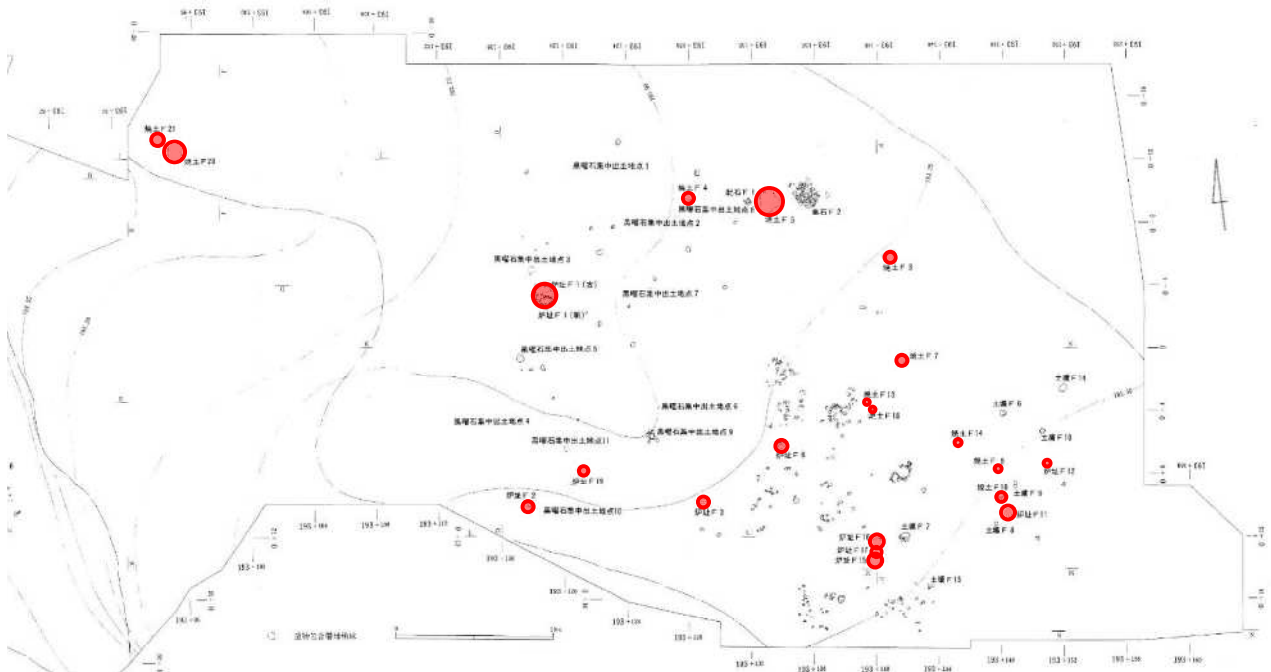


図 11 長野県茅野市御社宮司遺跡の平面図（部分）（報告書より転載、一部加工） ● = 焼土址

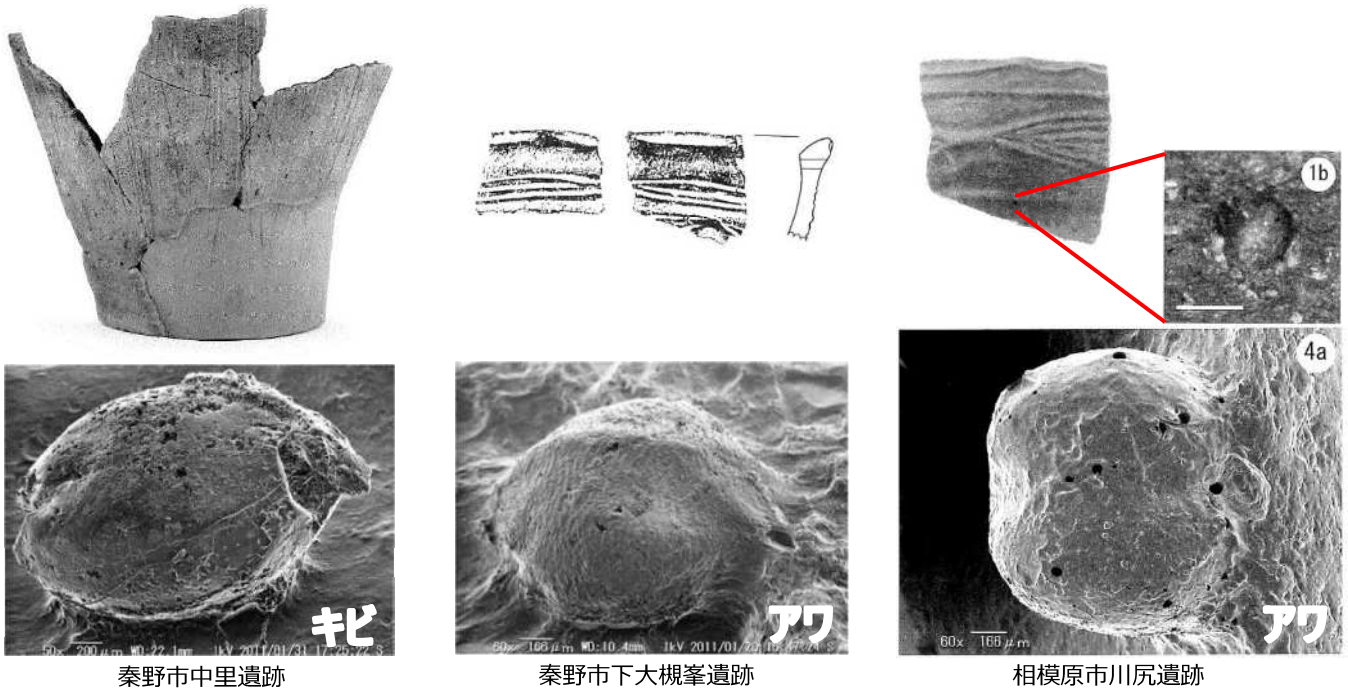


図 12 アワ・キビ圧痕のある土器（上段）とレプリカ電子顕微鏡撮影写真（下段）

※土器の写真及び拓本は各報告書より転載、レプリカ写真は中里遺跡・下大槻峯遺跡は設楽・高瀬 2014 年より引用、川尻遺跡は報告書より転載

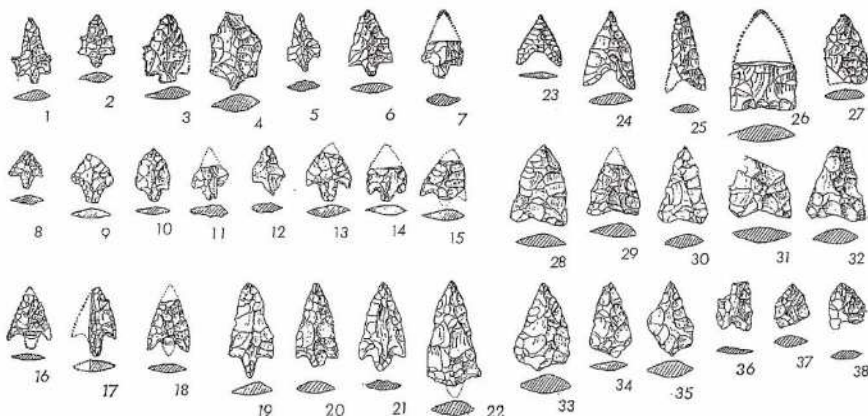
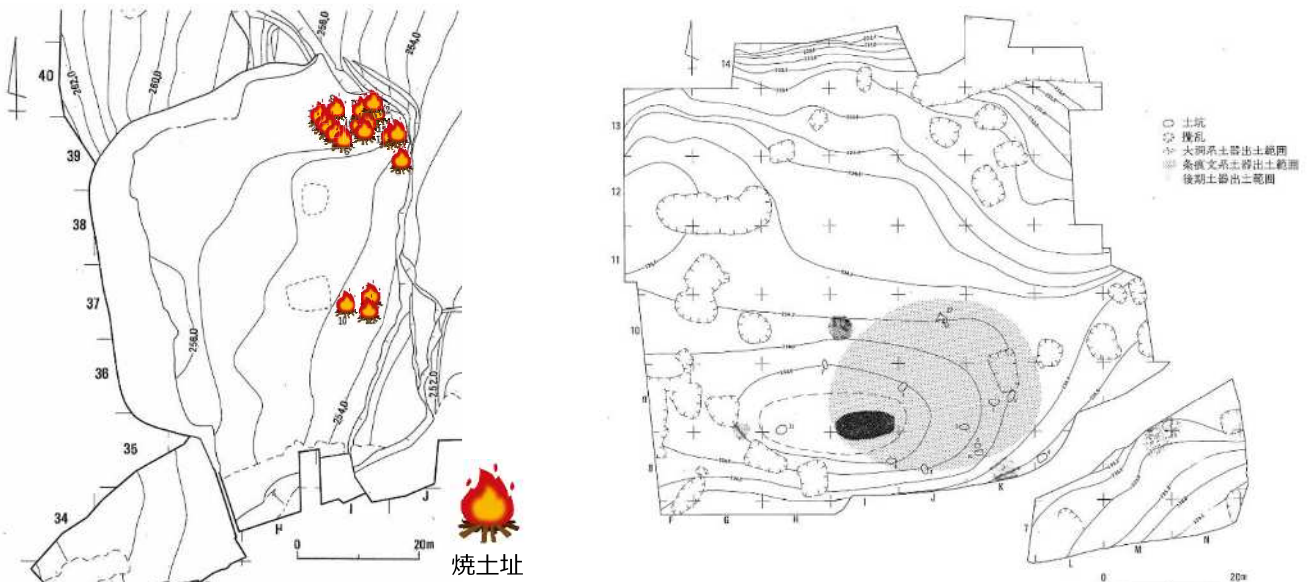
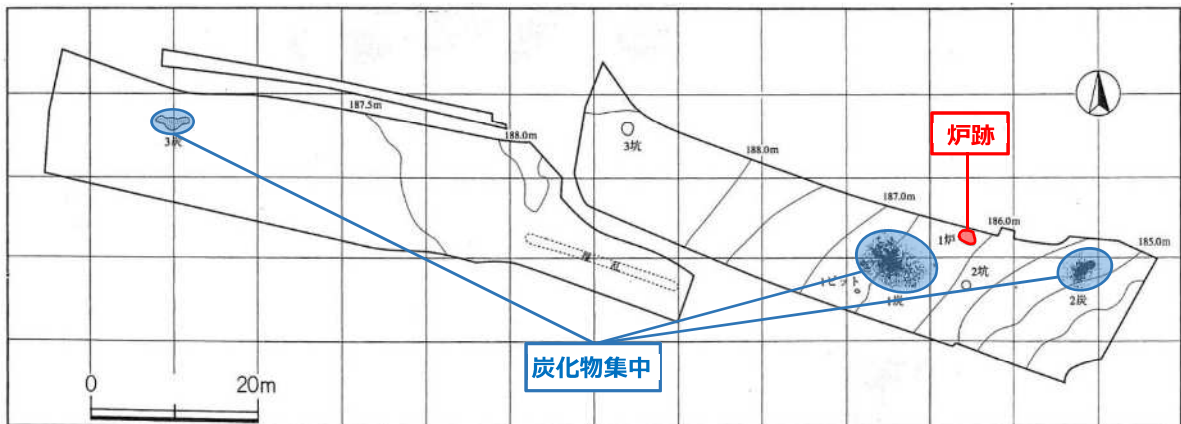
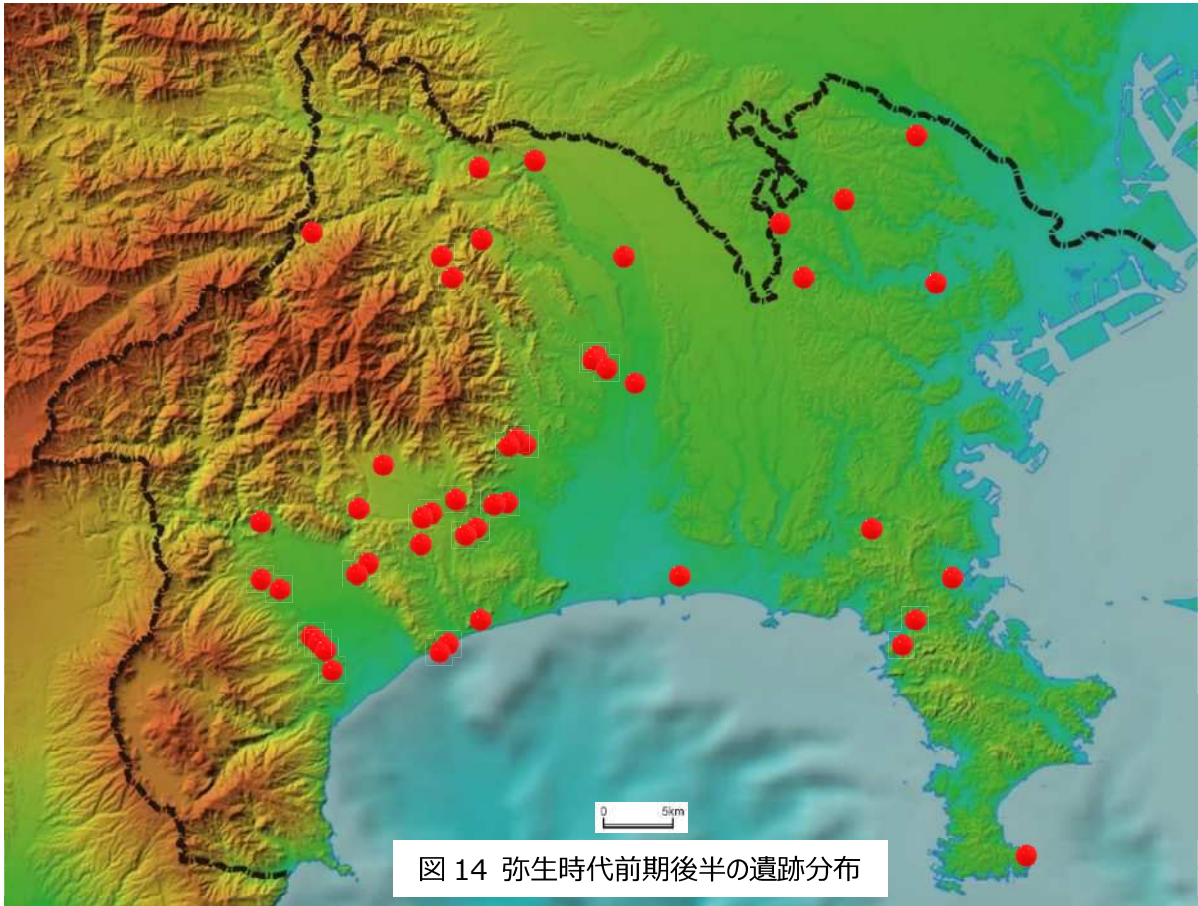


図 13 横浜市磯子区杉田遺跡出土の石鏃（杉原・戸沢 1963 年より引用）





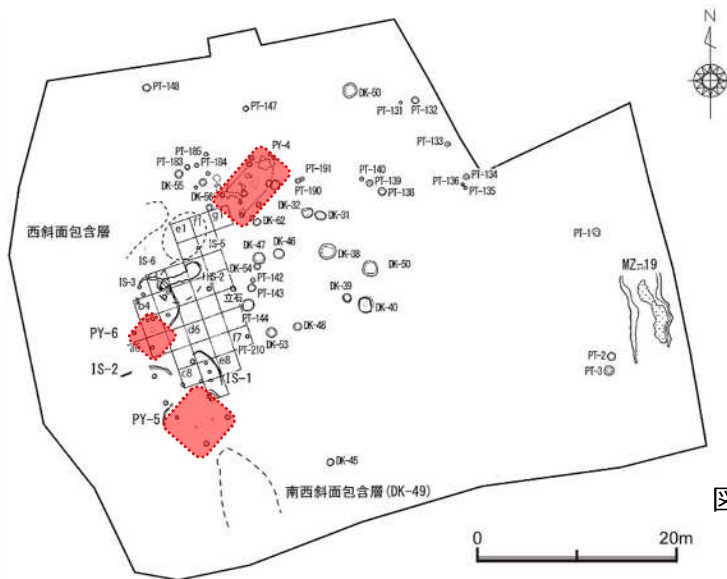


図 17 山梨県北杜市下丸子平遺跡の遺構配置図  
(報告書より転載、一部加工)

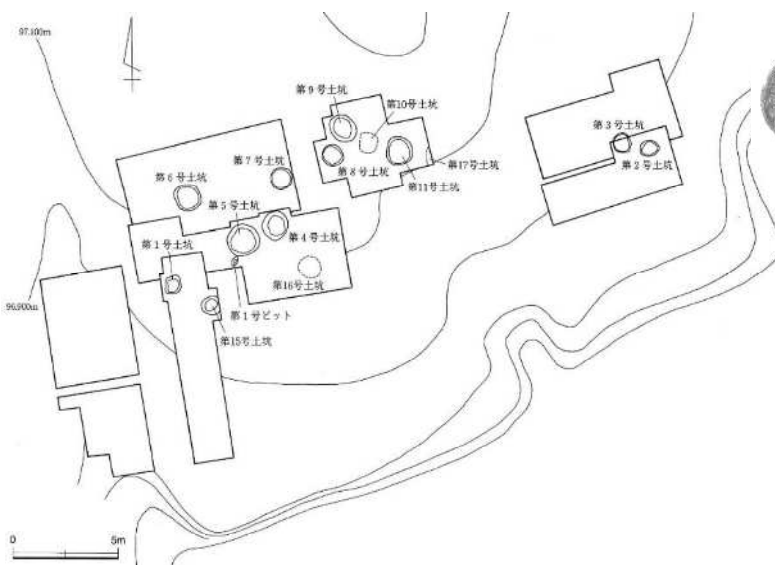
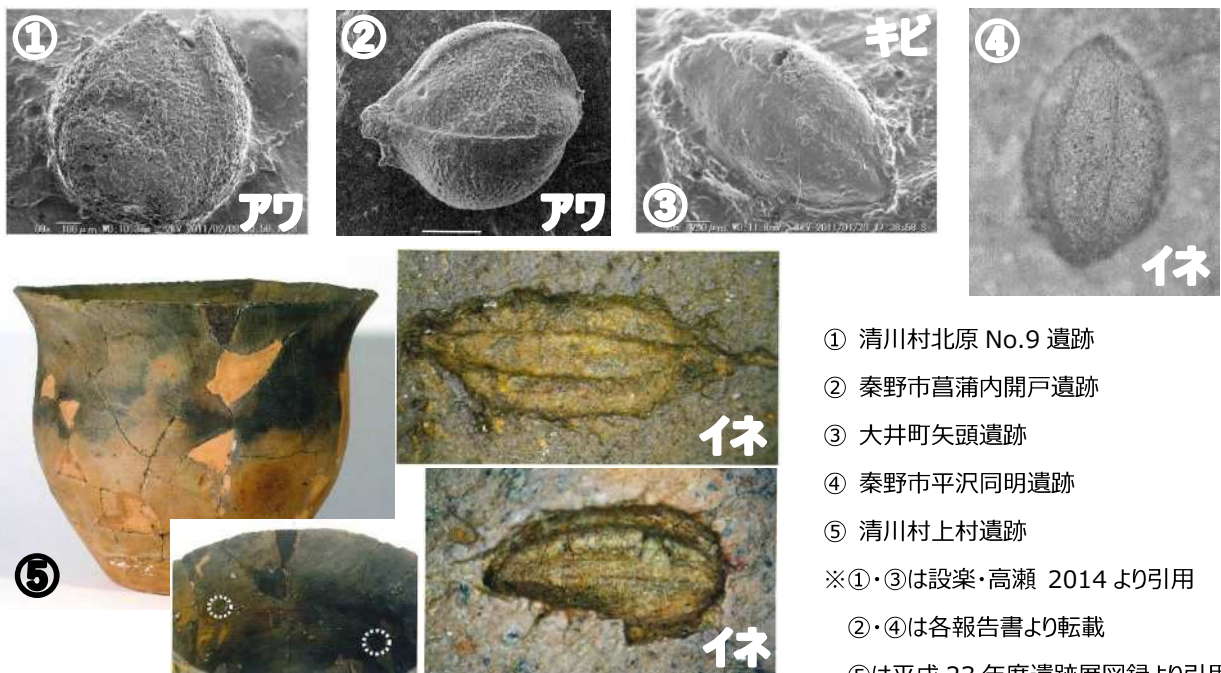


図 18 大井町中屋敷遺跡 北調査区遺構配置図と炭化イネ・アワ・キビ・トチノキ (報告書より転載)



- ① 清川村北原 No.9 遺跡
- ② 秦野市菖蒲内開戸遺跡
- ③ 大井町矢頭遺跡
- ④ 秦野市平沢同明遺跡
- ⑤ 清川村上村遺跡
- ※①・③は設楽・高瀬 2014 年より引用
- ②・④は各報告書より転載
- ⑤は平成 23 年度遺跡展図録より引用

図 19 神奈川県内で確認された穀物の圧痕及びレプリカ



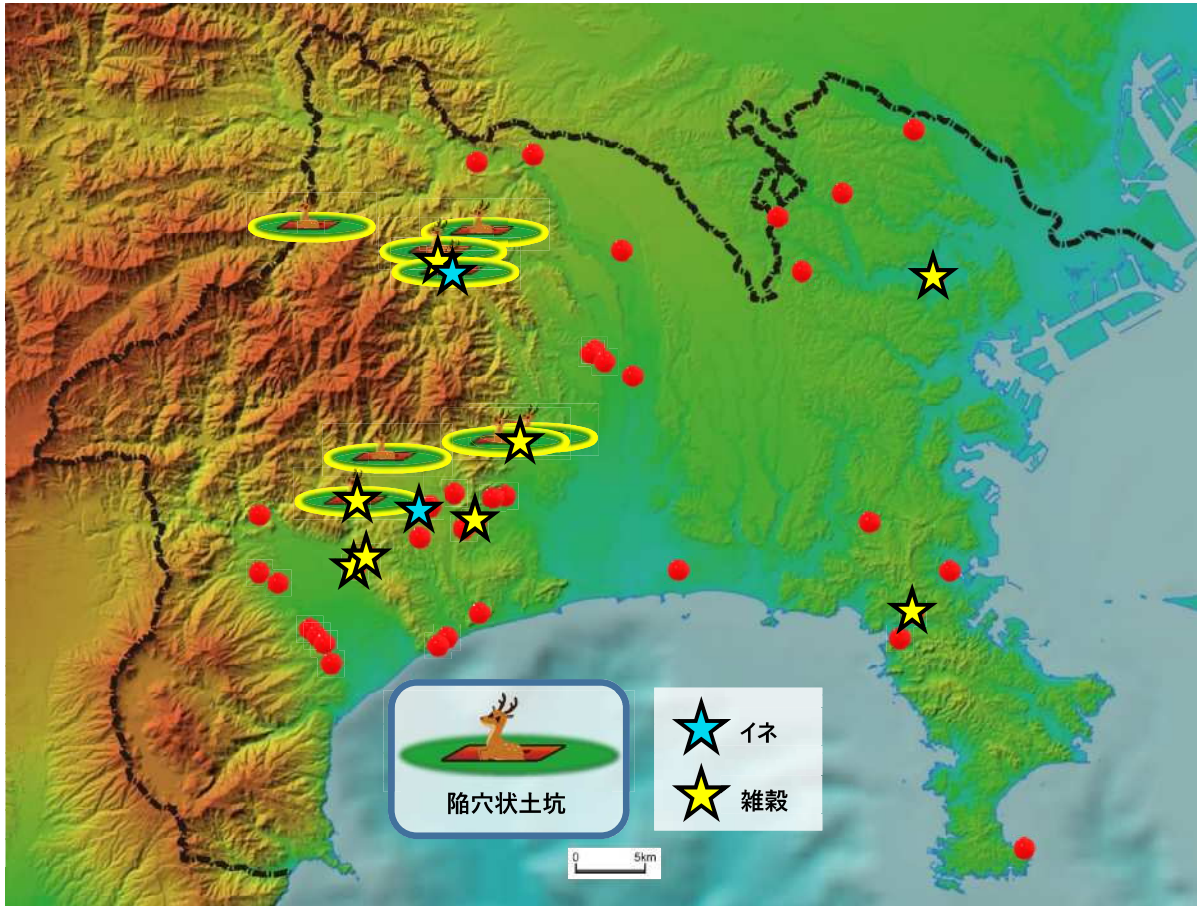


図 20 陥穴状土坑及び穀物の圧痕が見つかった遺跡の分布（弥生時代前期後半）

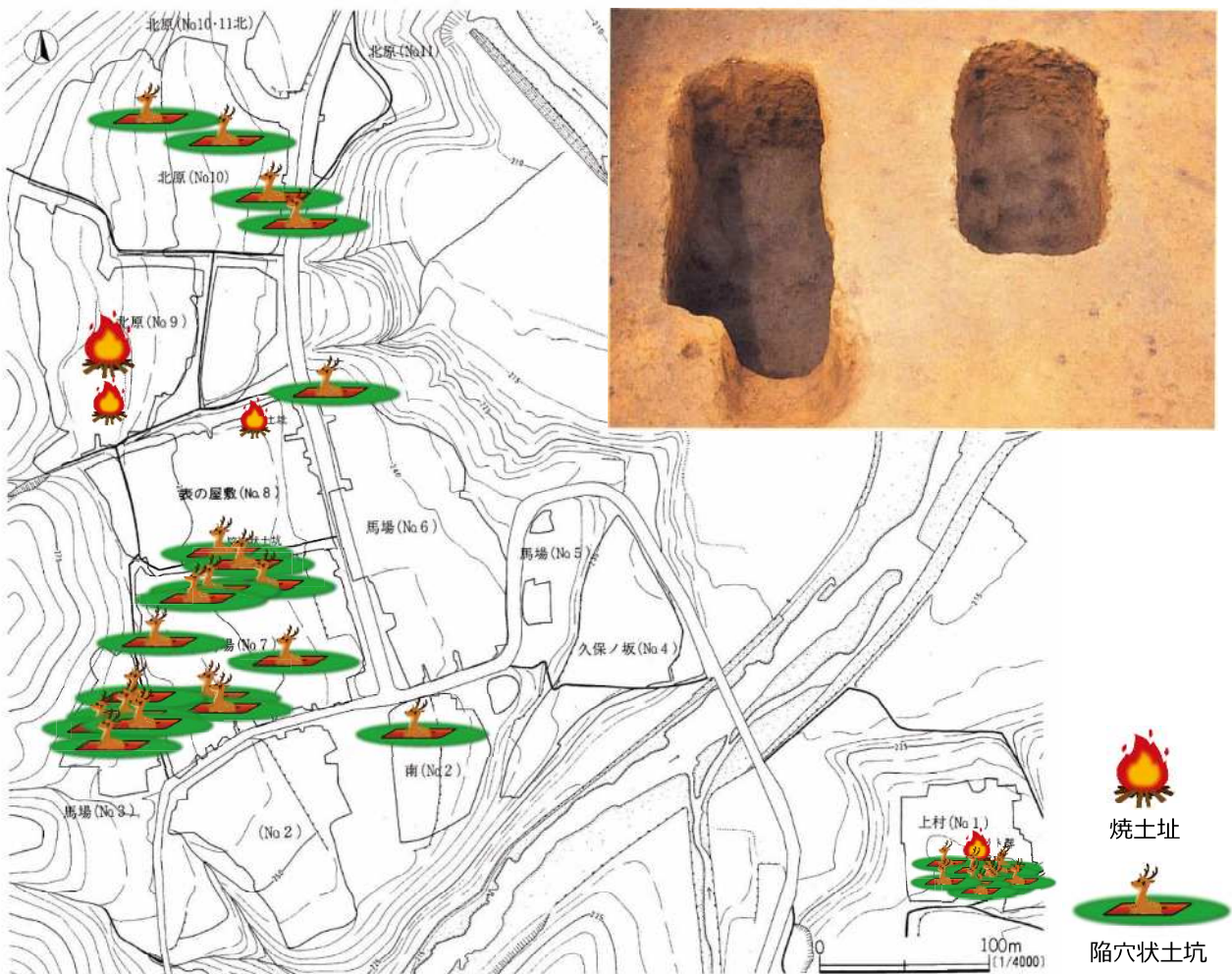


図 21 清川村宮ヶ瀬地区遺構配置図及び陥穴状土坑写真（報告書より転載、一部加工）





図 22 再葬墓（左：厚木市及川宮ノ西遺跡、右：横浜市港北区新羽浅間神社遺跡）  
 （及川宮ノ西遺跡の写真は平成 11 年度遺跡展図録より転載）

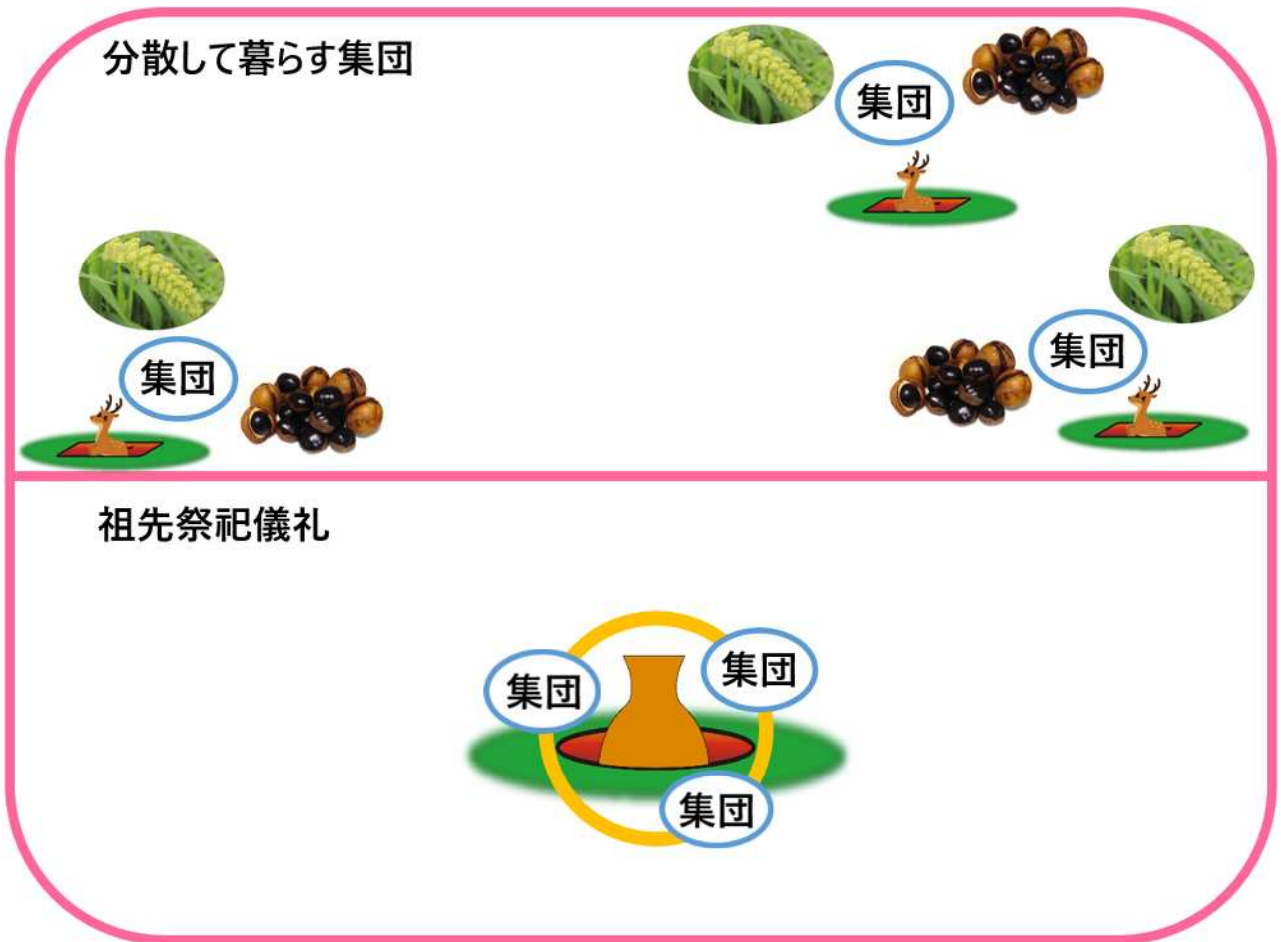


図 23 生活スタイル概念図  
 （横浜市歴史博物館 2017 をもとに作成）

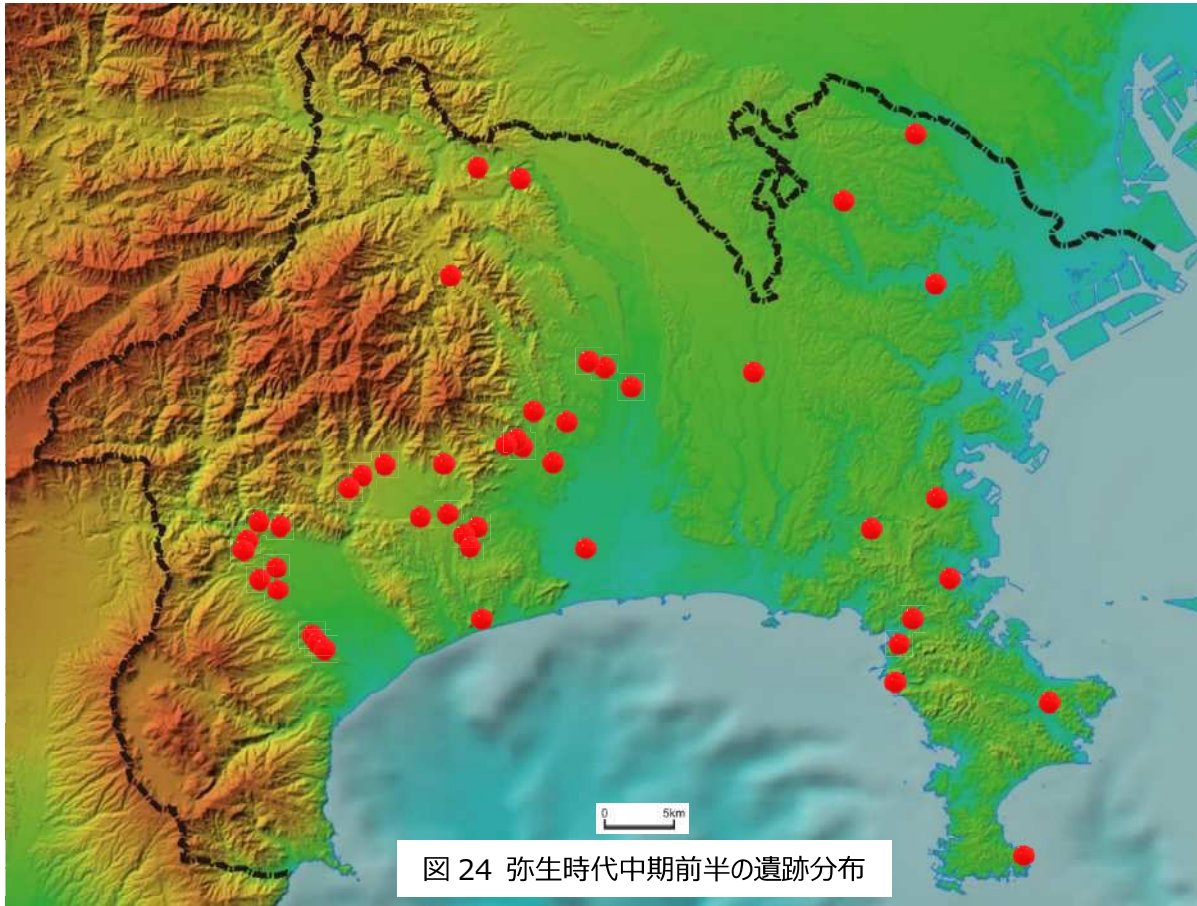


図 24 弥生時代中期前半の遺跡分布

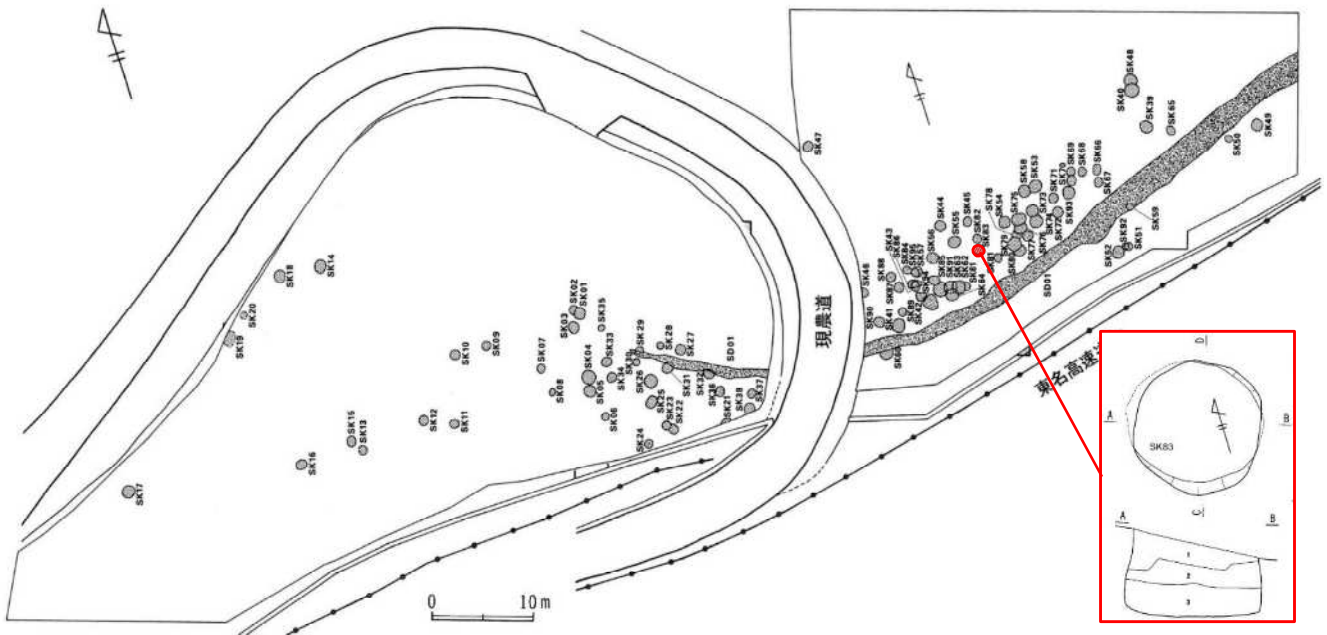


図 25 山北町堂山遺跡の遺構配置図と土坑実測図  
及び出土した打製石斧写真

(遺構配置図及び土坑実測図は報告書より転載し、一部加工。打製石斧写真は平成 11 年度遺跡展図録より引用)



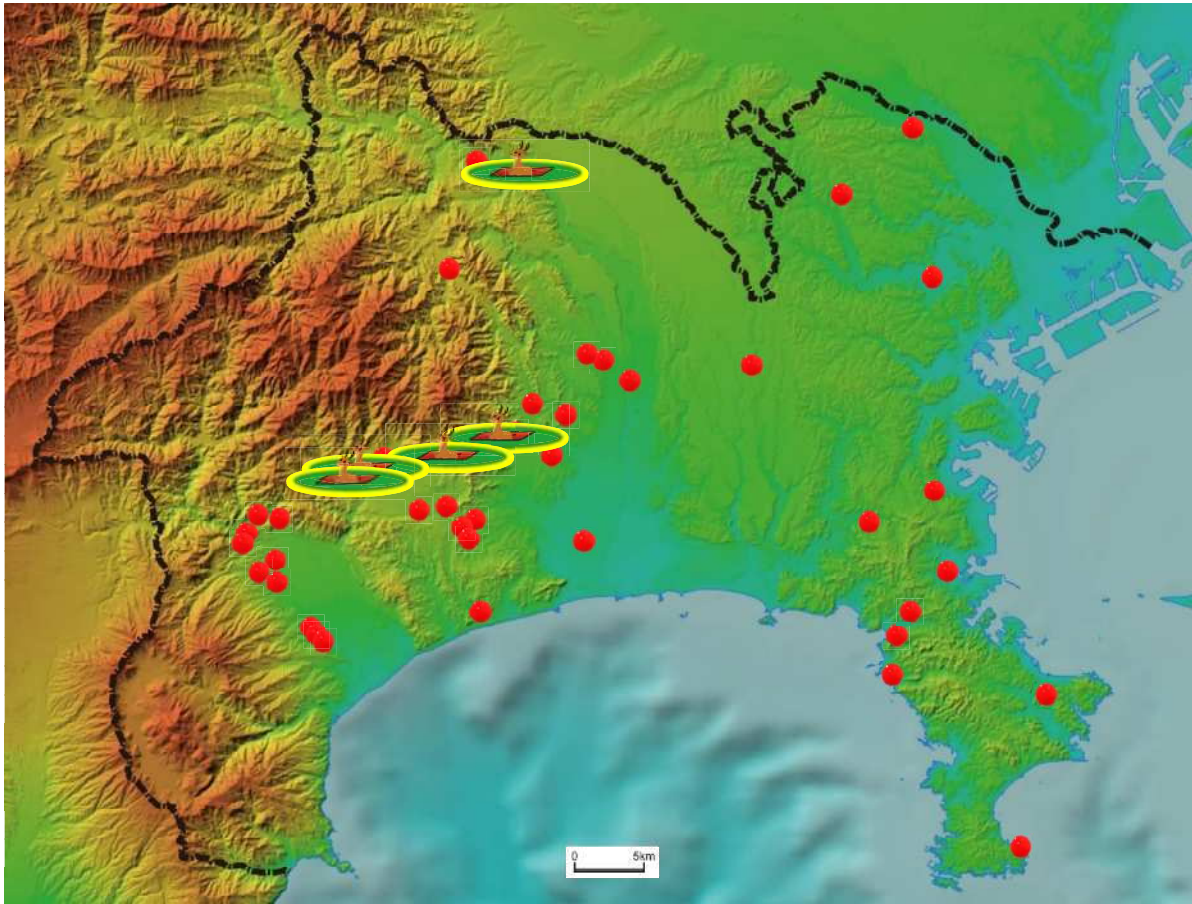


図 26 陥穴状土坑が見つかった遺跡の分布（弥生時代中期前半）



図 27 小田原市中里遺跡第 I 地点（居住域）及び第 III 地点（墓域）の遺構配置図  
（神奈川県考古学会 2008 より引用）